

# 世界のウチナンチュ大会10月開催

## 海外移民の始まり

1990年から始まった、全国・世界各地にいる沖縄県系人（「ウチナンチュ」）が約5年に1度母県、沖縄に集まるイベント、「世界のウチナンチュ大会」が今年の10月に開催されます。

現在、世界各地には約40万人の沖縄県系人が在住しています。沖縄県の集団移民は、1899

（前夜祭：10月12日（水）、本大会：10月13日（木）～10月16日（日））

（明治32）年にハワイに渡った26名から始まりました。

第5回目の今大会キャッチフレーズは、おきなわの伝統芸能や魂、ウチナンチュの絆がいつまでも有り続けほしいという思いを込めた、「うちゅら島の魂響け 未来まで」となっております。

ハワイ移民を皮切りに、北米、中南米、アジアなどへ次々と進出しました。

回を重ねるごとに海外参加者が増えており、今回はメイン会場を昨年完成した那覇市の「セルラスタジアム」に移し、海外から約5,000人の参加者を見込んでいます。

慣れない環境、想像以上の重労働、言語の違いなど、立ちはだかった多くの困難をウチナンチュの「イチヤリバチャョーデー」「ユイマール」精神で乗り切り、現代の活躍の土台を築きました。

1948年には、戦争で壊滅的な打撃を受けた沖縄の惨状を伝え聞いたハワイのウチナンチュが中心となり、550頭の豚を沖縄へ運び、戦後復興の礎を築いたと言われています。豚輸送の立役者となった7人のうち4人がうるま市の出身です。

1948年には、戦争で壊滅的な打撃を受けた沖縄の惨状を

伝え聞いたハワイのウチナンチュが中心となり、550頭の豚を

沖縄へ運び、戦後復興の礎を築いたと言われています。

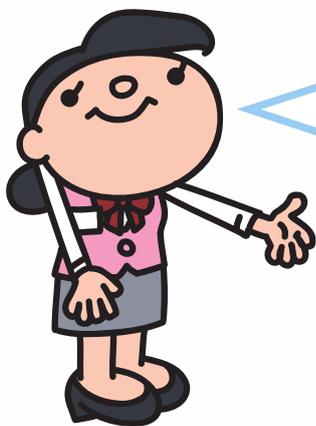
豚輸送の立役者となった7人のうち4人がうるま市の出身です。

### うるま市出身者歓迎会

うるま市では、本大会にあわせて来沖する「世界のうまんちゅ」を歓迎する事業を計画中です。大会に参加するうるま市出身者に関する情報をお寄せください。

歓迎会等の詳細は、来月号の広報にてお知らせいたします。

秘書広報課 ☎973-5079



参加者がカチャーシーする様子やウチナンチュのチムグクルを「心」という文字をモチーフに表現し、未来への希望とウチナンチュの飛躍と連帯感を象徴しました。

また、使用している5色の色は5大陸をイメージし、世界中から沖縄に集う人々が交流を深めている様子を表現しています。

詳細はホームページで!!  
第5回世界のウチナンチュ大会実行委員会  
<http://www.wuf5th.com/>

市町村別・国別移住者数(現在のうるま市のみ抜粋) (H6(1994)年3.31 現在)

	ブラジル	アルゼンチン	ボリビア	ペルー	カナダ	合計
具志川市	510	20	70	3	3	606
石川市	108		14			122
与那城町	80	16	15			111
勝連町	30	74	9		1	114
合計	728	110	108	3	4	953

『沖縄県と海外移住』(H6年 3月) 国際協力事業団沖縄国際センター発行に基づく